

中部学院大学報

PAULOWNIA⁺

ポローニア プラス

CHUBUGAKUIN DIGEST

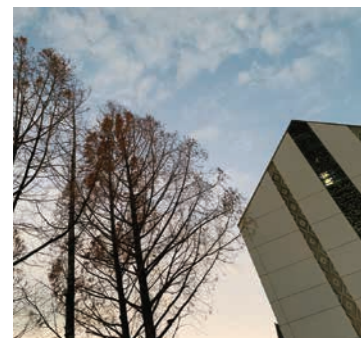


3年ぶり4度目の明治神宮野球大会出場を決め、歓喜にわくナイン
 =名古屋市、パロマ瑞穂野球場



①整列してスタンドにあいさつするナイン ②堅実な守備が光った内野陣 ③好機での勝負強さが光った打撃陣。写真は期待の1年生森翔太郎内野手 ④ピッチャーの柱として力投した秋田稜吾投手、右は三塚武蔵一塁手 ⑤本塁打を放った藤本舜外野手 ⑥キャプテンの廣部就平選手を中心に、常に攻めの姿勢で戦い続けたナイン
 ※いずれも明治神宮野球場にて

明治神宮野球大会 ダイジェスト



表紙写真

夕暮れ時の関キャンパス・グレースホールの外観とメタセコイア

今年度からリニューアルした中部学院大学報。

愛称は「ポロニア+」。

PAULOWNIAは中部学院のシンボルである「桐」の英語表記。

かつては大学祭を「ポロニア祭」と呼び、学生に親しまれてきました。

発行 | 中部学院大学報編集委員会

2022 Vol.47

Contents

- P 04 GRADUATES SPECIAL FEATURE 01
恩師からのメッセージ
- P 06 GRADUATES SPECIAL FEATURE 02
卒業生座談会
- P 08 SPECIAL FEATURE
キラッと輝く中部学院生
- P 10 キラッと輝く中部学院生（卒業生編）
- P 11 学長賞・同窓会長賞 ほか
- P 12 CLUB&CIRCLE
- P 14 TOPICS



スポーツで活力を

大学学長 古田 善伯



卒業おめでとうございます。今年も新型コロナウイルス感染症に悩まされていますが、ワクチン接種や薬の開発などにより、少しずつ先が見え始めてきました。しかし、オミクロン株という新しいウイルスが発生してきたため、まだしばらくの間はウイズ・コロナの生活が続きそうです。幸い今年度後期は、すべて対面授業を行うことができ、大学生活が戻りつつあり、学生の活動も活発になってきています。このような中で、スポーツ活動が盛んに行われ、大学正面の垂れ幕が17本飾られ、これまでに多くの学生が全国大会で活躍してくれました。昨年は1年遅れの東京オリンピックが無観客の中で行われましたが、日本選手の活躍で多くの日本人が元気をもらうことができました。スポーツは元気をもたらす源になりますので、皆さんも何らかのスポーツを行って、活力をつけて、コロナをはねのけて欲しいと思います。私は今年度で本学を卒業しますが、皆さんのこれからの活躍を祈念しています。

卒業式は人生の節目

短期大学部学長 片桐 多恵子



学びに卒業はありません。卒業式は大学の学びの節目であり新しい学びの始まりの時です。人生は未完成で完成することはありません。この大学で学んだこと、体験したこと、出会った人々のことなど、学生時代の貴重な青春の日々が、これからの完成することの無い人生の糧となっていきます。これから人間の尺度では測れない、努力だけでは解決できない数多くの事に会おうでしょう。理不尽と思うこともあるでしょう。そんな時、簡単に結論を出す愚かさは避けなければなりません。願いながら時が満ちるのを待っていると希望に繋がる光が見えてきます。笑顔は光を招きます。「世界の共通語は笑顔」の言葉通り、キャンパスには笑顔が溢れています。これからも本学のトレードマーク「笑顔と挨拶(声かけ)」を励行して、周囲の闇を照らす光となってください。

夢に向かって

副学長 江馬 諭



ご卒業おめでとうございます。皆様は、福祉、教育、理学療法、看護、スポーツ健康科学の各分野で研鑽を積まれました。今後は、それぞれの免許、資格、知識と技能を生かして、社会で活躍されることを期待しております。一方、自然界の草木は、春になると芽吹き、梅雨とともに大きく茂り、夏の日差しを一杯受け取ります。やがて、紅葉し、実をつけ、落ち葉となります。でも枝先には来年のための小さな芽が準備されています。このように草木は四季の移り変わりに合わせて変化しながら、少しずつ成長していきます。皆様の今日の努力は明日に繋がり、1年間の努力は次の年に繋がります。皆様も自然の移り変わりを感じながら、夢を追いかけてください。

「生きる」スペシャリスト

副学長 片桐 史恵



ご卒業おめでとうございます。晴れの門出を心よりお祝い申し上げます。今わが国は、先端技術の高度化やグローバル化、労働人口の減少などが進み、社会の在り方そのものが大きく変わろうとしています。このような時代だからこそ、本学では「生きる、を学ぶ」を大切に参りました。卒業する皆さんは、たくましく道を切り拓くことの出来る「生きる」スペシャリストです。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、新たな社会生活の変化を生じさせていますが、答えのない問いに向き合う力をつけた「生きる」スペシャリストである皆さんならば、力を発揮できると思います。中部学院大学・中部学院大学短期大学部で培った真の自信を糧にして、恐れることなく道を切り拓いていってほしいと思います。

“居場所”があれば人は強い

人間福祉学部長
飯尾 良英

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。コロナ禍の中で、いつの間にか、社会は大きく変化しつつあります。激変の時代だからこそ、自分を失わず自分の居場所をつくってください。居場所があれば人は強く生きられます。居場所は誰かが与えてくれるものではありません。新しい環境の中で、柔らかくしなやかに、ひたすら誠実に生きてください。いつの日か、その場所であなは輝くことができます。どんな社会であっても、健康と出会いを大切に、自分の道を進んでください。

志と知識でしなやかに！

教育学部長
江馬 諭

ご卒業おめでとうございます。皆さんはこれから一人の社会人として生きていくことになります。コロナ禍に代表されるように、現在社会が直面している諸問題は正解が見つけないものばかりです。その中で、自分の頭で考え、決断し、行動し、その結果を受け入れ、次のステップに進んでいきます。そのためには自らの志と確かな知識を持ち、この4年間で培った自分を信じて、新しい環境でしなやかに生きてください。

貴重な経験をした世代として

看護リハビリテーション学部長
大森 正英

ご卒業おめでとうございます。今、世の中は暗い予想に満ちていますが、現状を冷静に分析すると、我が国の高齢者の7割以上は介護を必要とせず、コロナ禍の中でも平均寿命は延び続けています。元来、日本は今よりはるかに困難な時代を逞しく乗り越えてきた国です。今後も科学、生産技術の向上、制度の改革などで充分対応可能と考えられます。皆さんは貴重な経験をした世代として、世の中を変えていく使命があるのです。大学での学びが着実に実を結んでいくことを願っています。ご健闘を祈ります。

卒業おめでとう！

スポーツ健康科学部長
鈴木 壯

皆さんの学生生活の後半はコロナ禍の影響でそれ以前のようにできなかったかもしれません。しかし、それは必ずしも悪い体験だけとは限りません。それまでとは異なる何かが得られているかもしれないのです。それは今後に生かされるに違いありません。「一路白頭いちろくはくとうに至る」という言葉があります。留岡幸助という「北海道家庭学校」(北海道の遠軽にある非行少年の教育施設)の創始者が「This one thing I do」を意訳し、「白髪になるまで、年老いるまで、このひとつの道を歩みつけよう」と、自らの生涯の座右の銘としました。このような人生を送れることを願っています。

笑顔とあいさつを忘れずに

短期大学部
幼児教育学科長
杉山 祐子

ご卒業おめでとうございます。子どもに関わる仕事を夢見て入学したみなさんが、様々な困難を克服し、努力し、共に学ぶ仲間を得た2年間は、短いけれど人生で最も充実した時ではないでしょうか。この2年を原動力として、本学の「“生きる”を学ぶ」精神のもと、まずは自分が幸せに生き、そして周りの人が幸せに生きるために働くことを希望します。それは、幼児教育学科のモットーである「笑顔とあいさつ」が“はじめの一歩”です。

自分の得た体験を力に

短期大学部
社会福祉学科長
吉川 杉生

ご卒業おめでとうございます。短期大学は、2年間で現場に踏み出す力と心を鍛えることを目指しています。たしかに、コロナ禍で出来なかったことや、難しかったこともありました。しかし、その中でも出来ることを考え、行動した体験を忘れないでください。みなさんが苦勞をして身につけた知識と技術、地域活動での経験、新しい友人、実習やインターンシップで出会った人々…、それらがこれから踏み出す分野でいきる力となることを願っています。社会福祉学科は、若い学生や社会人、留学生がともに学ぶ学科です。新しい環境でそれぞれが活躍することを、教員全員で応援しています。



人間福祉学部
人間福祉学科

玉置 奈央さん
(たまき・なお)
公務員(福祉職員)

教育学部
子ども教育学科

浅野 嘉允さん
(あさの・よしちか)
教員(小学校)

看護リハビリテーション学部
理学療法学科

水谷 優花さん
(みずたに・ゆうか)
理学療法士(病院)

看護リハビリテーション学部
看護学科

田中 柚妃さん
(たなか・ゆずき)
公務員(保健師)

スポーツ健康科学部
スポーツ健康科学科

亀山 夕葵和さん
(かめやま・ゆきな)
会社員(体育教室指導者)

短期大学部
幼児教育学科

國井 琴美さん
(くにい・ことみ)
保育士(公立保育所)

短期大学部 社会福祉学科
(医療事務コース)

石谷 悠乃さん
(いしたに・はるの)
医療事務(医療福祉系財団法人)

卒業生座談会

4年間、2年間の大学生活を終え、この春、社会に飛び立つ卒業生の皆さん。大学時代の思い出や就職に向けての抱負、後輩の皆さんへのメッセージを語り合ってもらいました。

公務員試験や資格取得の勉強に全力 実習ではやりがいや大変さを味わう

—大学生活を振り返って、頑張ってきたことや印象に残っていることは。

玉置 4人きょうだいの長子で、子どもを手助けできるような仕事に就きたいと思っていました。着目したのは児童福祉司です。公務員試験と社会福祉士の勉強に最も力を入れてきました。ボランティア活動や岐阜県職員セミナーなどにも積極的に参加しました。

浅野 誰に対しても全力で接してくれた中学の担任の先生にアコガれて教員を目指してきました。そのために、実習と採用試験に向けての勉強を頑張りました。実習では仕事のやりがいと大変さを、身を持って感じました。勉強は教職センターを有効的に活用しました。

國井 公務員試験合格の勉強を頑張りました。土曜日の講座を受けたり、面接や実技試験に向けて自信が付くように練習したりしました。ゼミ活動では、子どもたちと芋ほり体験をする中で、保育者の事前準備の大変さを知ったり、楽しさを味わったりしました。

水谷 電車とスクールバスを利用して1時間半かけて大学まで通ったことです。また、3年の実習前には、OSCE(客観的臨床能力試験)という学内試験があり、受からないと実習に行けないので、ゼミの仲間たちと遅くまで残って実技練習したことが思い出深いです。

石谷 コースで特徴的な授業が印象に残っています。有給インターンシップでは、接客を通して、臨機応変に行動する大切さを感じました。ビジネスマナーでは、お辞儀の角度や言葉づかいなど、自分自身の言葉や表情によってイメージが決まることを学びました。

田中 課題や授業に取り組むことに精いっぱいでした。実習では新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、多くの制限がありました。限られた時間の中で、患者さんとのように関わり、良い支援ができるかを常に考えながら、看護を深く学ぶことができました。

亀山 勉強と遊びを両立しました。仕事に生かせると思う資格を在学中に取るうと頑張り、中学校・高等学校教員1種免許(保健体育)や障がい者スポーツ指導員などを取得しました。行きたいところに積極的に出かけ、たくさんの思い出を作ることができました。

信頼される専門職を目指したい 一人一人と向き合い、共に成長したい

—就職に向けての抱負は。

水谷 高校の職場体験で病院を見学した時、女性理学療法士が男性を移乗しているのを見て、アコガれを持ちました。授業や実習で学んだことを生かし、経験を積み、患者さんから「あなたで良かった」と言ってもらえるように、自己研さんしていきたいです。

田中 地域で生き生きと生活できるように、病気になる前の予防の支援がしたいと思い、保健師の道を目指しました。地域の特性や住民のニーズに応じた支援を提供できるように、地域の身近な医療職として、思いや不安に寄り添い、信頼される存在になりたいです。

石谷 健康診断の受付アシスタントとして働きます。会社の顔となる

ので、笑顔で明るいあいさつを心掛け、丁寧に接し、誰からも信頼されるようになりたいです。地域の方が安心して受診できるように医療従事者と一緒になって寄り添い、健康を支えていきたいです。

浅野 「子どもたちに囲まれる教師」を目指し、子どもと積極的に関わり、一人一人をしっかりとみて、変化や成長を感じて伝えられるようにしたいです。全体を見渡しながら、共に成長し、子どもたちが安心して充実した学校生活を送れるように全力で頑張ります。

國井 通っていた保育園の先生がよく声をかけてくれたのが印象に残っていて、保育士になりたいと思い、目指してきました。安心感を与えられるように、子どもたちをよく見て言葉にして伝えたり、目を見て触れ合ったり、温かみのある保育を実践したいです。

亀山 幼稚園の時に自分に合う体操の先生に出会えた経験から、スポーツが好きなお子が増えほしいとの思いから目標にしてみました。園児から児童まで年齢層が幅広いので、子どもに合わせて分かりやすく伝え、「体を動かすことが好き」と感じてもらいたいです。

玉置 児童福祉司は、子どもの命に関わる仕事でもあるため、保護者の方ともうまくコミュニケーションを図りながら、最善の解決策を考えていく必要があります。責任のある仕事なので誇りを持ちながら、多くの子どもの権利を守っていけるようにしていきたいです。

目標に向けて今から逆算して行動を 友人や仲間と高め合い、充実した生活を

—後輩に向けてのメッセージを。

亀山 コロナ禍でも行けるところやできることもたくさんあります。メリハリを付けながら、勉強を頑張ったり、遊ぶことも大切だと思っています。

将来、どのような人生を歩みたいのかを考えながら、その目標に近づくために大学生活を楽しんで過ごしてほしいです。

浅野 全力で楽しんでください。コロナ禍ですが、学生時代はたくさんの経験を積むことができます。私は不登校の児童らと交流するボランティアに参加し、他大学の学生とも親交を深めました。勉強も遊びも目標に向かって頑張る仲間と一緒に高め合ってください。

國井 短大生活はあっという間に過ぎます。将来、子どもと関わっていく職業として、どのような力を養っておくと良いかを考えながら学んでいけると良いと思います。実習では、子どもならではの面白い発想からかわいさを感じるので、楽しみにして臨んでください。

石谷 2年間はあっという間でしたが、友人の存在もあり、充実した大学生活を過ごせました。人と人とのつながりを大切に、友人と助け合いながら、1日1日を大切に過ごしてください。後悔しても時間は戻ってこないの、やりたいことに挑戦してほしいです。

玉置 「とりあえずやってみる」という思考で行動すると、自分の知識や経験が増え、目標に近づけると思います。目標が決まっていたら、逆算して「いま何が必要か」を考えて行動に移すと、さまざまな経験ができ、就活の面接などで個性や武器になると思います。

水谷 知識の乏しさや技術面の不安をなくしていくためには、毎回の実技演習が大切です。一人で勉強しているとつらくなることもあるので、友人や仲間、先生方など信頼し合える人がいると心強く、頼ることもできるので、モチベーションを保つことができました。

田中 毎日の積み重ねが国家試験の結果や就職につながると思います。命に関わる医療職を目指すというのは大変ですが、仲間とともに取り組んだり、患者さんのことを考えてケアを考えたり、充実した日々を過ごせると思います。目標に向かって頑張ってください。

プロ野球広島からドラフト育成指名 ナックルを武器に活躍を誓う

プロ野球ドラフト会議が昨年10月に行われ、硬式野球部の坂田怜投手(人間福祉学部4年/埼玉・正智深谷高校出身)が広島東洋カープから育成枠で指名を受けました。(※①) ナックルボール(※②)と呼ばれる球種を武器にプロの世界に挑む坂田投手に、これからの抱負などを聞きました。

※① 育成を目的として選手を指名・登録。プロ契約(支配下登録)を目指す。

※② ボールの縫い目に爪を立て、はじくようにして投げる変化球。無回転となり、変化が不規則となるのが特徴。この球種を投げ込む投手は稀有。

人間福祉学部
人間福祉学科4年(硬式野球部)
坂田 怜さん
(さかた・れい)

小学校からソフトボールを始め、中学からは硬式野球(熊谷シニア)。正智深谷高校(埼玉)野球部を経て、2018(平成30)年4月、中部学院大学人間福祉学部人間福祉学科に入学。硬式野球部では、大学1年秋にリーグ戦初登板で完封勝利。その後、大学3年になる時に、大動脈の根元が膨らんで破裂する「バルサルバ洞動脈瘤破裂」と診断され、20年4月に手術を受けた。同年冬に監督からの勧めもあり、ナックルボールに挑戦。ブルペンで毎日100球の投げ込みを続けた。コントロールの正確さに加え、ナックルボールを武器に緩急をつけながら打たせて取るピッチングが特徴。公式戦の通算成績は6試合1勝。身長188cm、体重90kg。右投げ右打ち。憧れの選手はナックルボーラーとして大リーグ通算200勝を挙げたティム・ウェイクフィールド投手。



広島東洋カープ
松本有史
担当スカウト

よく練習して投げ方も研究しています。投げるたびに、ナックルの精度や落差が増えています。日本のプロ野球でナックルを投げる投手はいないので、極めてほしいです。

一プロでの目標は。

まずは支配下登録を勝ち取り、早く1軍のマウンドで投げられるようになりたいです。ナックルボールの完成度はまだまだですが、さらに磨きをかけていきたいです。具体的には、長身や腕のリーチを生かしながらナックルのスピードを上げ、緩急をつけた投球ができるようになりたいです。日本人のナックルボーラーはよく成功しないといわれているので、そのジグスを覆して、「ナックルボーラーといえば坂田」と言われるように頑張りたいです。

一広島には先輩たちが活躍しているが。

早く一緒にプレーしたいです。床田寛樹投手には、勝つ秘訣を聞きたいです。

一これまで応援してくれた家族や部員に一言。

けがをして練習ができない時や手術をした後も期待してくれたおかげで、ここまでやり続けることができました。今度はその期待に応えられるように、プレーで恩返ししたいです。

一プロから指名されて、率直な感想は。

小学校の時から「プロ野球選手になりたい」と思い、プロ選手を輩出している中部学院大学に進学したので、今は素直にうれしいです。

一病気を患ってから今日までのモチベーションは。

「一生百錬」という言葉があらわしているように、1日1日、目標のために頑張ろうという思いを大切にしながら、挑戦し続けてきました。

一ナックルを勧められた時、どのように感じたのか。

心臓の手術をしてから、それまで最速143キロあった速球が戻らず、球速は130キロ前後まで落ちました。「打ちとれる球を覚えたらどうか」と監督に勧められ、「挑戦してみよう」と思いました。毎日100球近くを投げ込み、感覚をつかんでいきました。また、大リーグでナックルボーラーの第一人者として知られているウェイクフィールド投手のビデオを観て、ナックルを生かす投球法を研究してきました。

一手ごたえを感じたのはいつくらいですか。

投げ始めて半年ほど経った昨年8月の練習試合で、予想のつかない変化がつき、打者が打ちあぐねているのがわかりました。3イニングを1失点に抑え、試合を作ることができました。プロのスカウトの方の目に留まったことも自信になりました。

一ナックルボールはどんな存在ですか。

ナックルがなければ、この日を迎えることはできませんでした。ナックルはまさに自分そのもの。これから精度をあげて、ナックルボーラーを極めたいです。



朝日杯争奪日本女子学生選手権で優勝 競技と勉強を両立 将来はプロ志望

ゴルフの朝日杯争奪日本女子学生選手権が10月、千葉県野田市の千葉カントリークラブ梅郷コース(6247ヤード、パー 72)で行われ、ゴルフ部の荒川怜郁選手(スポーツ健康科学部2年/沖縄・コザ高校出身)が通算6アンダー、2位に4打差をつけて優勝を飾りました。荒川選手に大会を振り返りながら、今後の抱負などを聞きました。

一日本女子学生選手権で優勝した時の感想は。

最初は実感がなく、信じられませんでした。周りの選手から「おめでとう」という言葉を掛けられて、ようやく「優勝したんだ」と感じました。

一大会を振り返って。

初日は4アンダーで首位に立ちました。リスク回避に努め、マネジメントがうまくできました。また、3mのパーパットを沈めることができました。パターは苦手ですが、ラインが良く見え、冷静にプレーができていたと思います。2日目は、カんでボギーをたたかないように、パープレーに徹しました。結果的に前半で5バーディーを奪うことができ、堅実にプレーできたことが良かったです。

一8月には全国大会の予選で敗退という悔しさも味わいました。

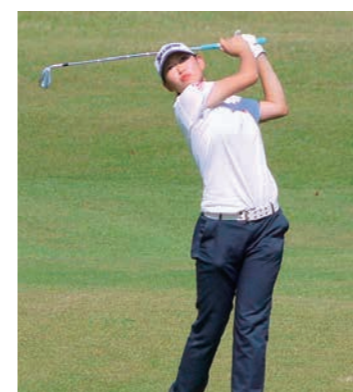
「日本学生選手権で優勝する」という目標を掲げていましたが、予選の中部学生選手権では結果を残すことができず、出場を逃してしまいました。とにかく悔しくて、気持ちが折れそうになりましたが、「あきらめたくない」という気持ちが強くあったので、自分自身を見返そうと練習を続けてきました。

一プレースタイルは。

ショットが得意で、ドライバーの飛距離は270ヤード飛ばすことができます。今後は、2m以内のカップインの確率を上げ、自信を持ってプレーできるようにしていきたいです。

一日ごろから大切にしていることは。

ゴルフはメンタル面も大きく左右するので、落ち込まないように心がけています。何も考えない時間をつくったり、動画サイト「ユーチューブ(YouTube)」を見て気分転換したり、友達と遊んでいます。



スポーツ健康科学部
スポーツ健康科学科2年
荒川 怜郁さん
(あらかわ・れい)

2001年(平成13)年生まれ。沖縄県出身。ゴルフ中継を見て「やってみたい」と5歳からクラブを握り始める。中学は硬式テニス部、高校では陸上部に在籍しながら、ゴルフの技術を磨く。同県コザ高校を経て、20年4月、中部学院大学スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科に入学。ゴルフ部では昨年6月に石川県で行われた全国女子大学対抗戦のメンバーの一人として、同部最高の準優勝に貢献。昨秋の日本女子学生王座決定戦では3位入賞を果たした。そのほか、ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント(予選敗退)、リゾートトラストレディス(58位タイ)などプロツアーにも参戦。持ち味は270ヤードを越すドライバーの飛距離。ベストスコアは65(愛知県豊田市・三甲ゴルフ倶楽部京和コース)。2021年度清流の国ぎふ栄誉賞受賞。



ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント(予選敗退)、リゾートトラストレディス(58位タイ)などプロツアーにも参戦。持ち味は270ヤードを越すドライバーの飛距離。ベストスコアは65(愛知県豊田市・三甲ゴルフ倶楽部京和コース)。2021年度清流の国ぎふ栄誉賞受賞。

一今後の目標は。

学生日本一になりましたが、タイトルに恥じないような選手になるために、もっとも実力を付けなければいけないと思っています。今後も優勝したことを意識せず、結果を出せるようにプレーしていきたいです。また、競技と勉強を両立しながら、友人と切磋琢磨して、さらなる目標にチャレンジしていきたいです。将来的には、プロになり、トーナメントで優勝できる選手になりたいです。

速報 世界大学ゴルフ選手権に選抜

今年7月にイタリアのトリノで開かれるゴルフの「2022世界大学選手権[2022FISU WUC Golf](世界大学スポーツ連盟主催)」に荒川選手が日本選手団の一人として選抜されました。

大会は4日間(72ホール・ストロークプレー)で争われ、団体戦と個人戦が行われます。日本選手団は、朝日杯などで上位に入った男子3名、女子3名が日本学生ゴルフ連盟により選抜されました。

キラッと輝く中部学院生（卒業生編）

「楽しい」と感じる事が大切 教育の本質を探究していきたい

今年度、ホームページをリニューアルしたのに合わせ、社会で活躍する本学の卒業生のインタビューを紹介するスペシャルコンテンツを本学公式サイトで発信しています。今回は、岐阜県内の小学校教諭として教べんをとっている大垣市立興文小学校の大熊英敬さんに、大学生活を振り返りながら、仕事のやりがいなどについて話を聞きました。

※ホームページでの「スペシャルコンテンツ」は、今後も随時、さまざまな分野で頑張っている卒業生を取り上げていく予定です。

<https://www.chubu-gu.ac.jp/watashimo/>



2018年度
教育学部
子ども教育学科 卒業
大熊 英敬 さん
(おおくま・ひでたか)

長良高校卒業後、本学教育学部子ども教育学科に入学。大学ではピリオバトールサークルに所属。紹介したい本を制限時間内にプレゼンして、一番読んでみたい本「チャンプ本」を決めるというピリオバトールの開催に尽力。大学卒業後は、岐阜県内の小学校で教員となり、2020年度から正式採用され、同年4月から大垣市立興文小学校に勤務。大切にしていることは「感謝」と「尊敬」。

を注ぎました。ピリオバトールサークルに所属し、イベントの企画や開催なども担いました。ピリオバトールのキャッチコピーにある「人を通して本を知る。本を通して人を知る」は好きな言葉で、本だけでなく、人の魅力にも触れられるからです。実際に担任を持った小学1年生にも実践し、児童たちの興味や学びを深めました。そのほかには、初めてのことに挑戦しました。学内の行事だけではなく、県庁や市町が主催する学外の取り組みに参加したり、海外をバックパックで旅行してみたり。自信はありませんでしたが、挑戦したことは正解でした。

—これからの夢や目標は。

短期的には、日々の中で自分の実践力を磨き、どの児童にも確実に学力が身に付くようにできる教員になることです。長期的には、幸せに生きていけるような教育の実現を目指し、教育そのものについての研究を深めていきたいと考えています。失敗を恐れず、日々新しいことに取り組んでいきたいです。

—中部学院大学で学ぶ後輩に向けて。

社会人3年目になり、今すぐ身に染みていることは、「『楽しい』とを感じる」ことを大切にすることです。「楽しい」や「好き」という気持ちを飛行機に例えると、エンジンのない飛行機は、飛び立つことができません。飛べたとしても長続きしません。また、ハートがないと、嵐などの困難に耐えられないと思います。人生は思い通りに運ぶこともあれば、涙が出るほどつらい時もあります。そんな時に、楽しさがあれば何とか乗り越えられます。まだ見つからない人は、何か動いてみてください。もしかすると、中部学院で「楽しい」何かが見つかるかもしれませんね。



2021年度 学長賞 受賞者一覧

【区分】1:成績・人格識見 2:研究 3:課外活動 4:ボランティア 5:その他

大 学

氏名・学科・学年	区分	推薦事由
本田 典大 (人間福祉4年)	1,3	学業成績優秀で人格識見特に優れ、サークル活動等でも活躍した。また、地域市民と積極的に交流し、自身が主催する哲学カフェを開催し、他の学生の模範となった。
木下 穂波 (子ども教育4年)	1	学業成績優秀で人格識見特に優れ、専門的知識等を高めオープンキャンパス等の大学広報にも積極的に参加して活躍した。
水谷 優花 (理学療法4年)	1	学業成績優秀で人格識見特に優れ、ゼミ活動等でも中心的な役割を担い、患者に寄り添える理学療法士を目指し幅広く知見を広め、他学生の模範となる活動をした。
杉浦 実都 (看護4年)	1	学業成績優秀で人格識見特に優れ、学習姿勢は積極的に他学生の模範となった。リーダーシップも取れ、知識・技術に対する吸収力は群を抜いて秀でていた。
山科 剣汰 (スポーツ健康科4年)	1,3	学業成績優秀で人格識見特に優れ、4年間男子バレーボール部の主力として活躍、東海リーグ1部昇格に大いに貢献、文武両道を体現した。
廣部 就平 (スポーツ健康科4年)	3	硬式野球部主将として、春季・秋季岐阜リーグ戦・東海地区秋季選手権大会・3連盟王座決定戦に優勝、明治神宮大会出場に大きく貢献、学業・練習で下級生の見本となる。
堀江 陸 (スポーツ健康科4年)	3	剣道部主将として、第68回東海学生剣道選手権大会にて創部初の個人戦優勝、団体戦では、第69回全日本学生剣道優勝大会初出場の中心メンバーとして活躍した。
荒川 怜郁 (スポーツ健康科2年)	3	第24回朝日杯争奪日本女子学生選手権において、トータル6アンダーで、2位に4打差をつけて優勝した。長い歴史を誇る本大会での優勝は、本学初の快挙である。

短期大学部

氏名・学科・学年	区分	推薦事由
清水 美有 (幼児教育2年)	1	学業成績優秀で人格識見特に優れ、教員や学生同士の信頼も厚い。
新名 はるな (社会福祉2年)	1	学業成績優秀で人格識見特に優れ、オープンキャンパスに積極的に参加活躍、教員や学生同士の信頼も厚い。

団 体

氏名・学科・学年等	区分	推薦事由
女子ゴルフ部	3	第44回全国女子大学ゴルフ対抗戦において、女子団体チームが準優勝した。
男子バレーボール部	3	東海大学バレーボールリーグにおいて2部リーグで全勝優勝、2017年の創部以降、創部初の1部リーグ昇格を果たした。

同窓会新評議員の紹介

本年度の卒業生を代表して、同窓会評議員として活躍していただく皆さんです。

大 学

- 人間福祉学科 森本 莉央
- 看護学科 田中 柚妃
- 子ども教育学科 浅野 嘉允
- スポーツ健康科学科 大橋 優司
- 理学療法学科 水谷 優花

短期大学部

- 社会福祉学科 井上 優衣
- 幼児教育学科 清水 美有

2021年度 同窓会長賞 受賞者一覧

【区分】1:学生会活動 2:大学の名誉・社会貢献 3:スポーツ・文化 4:その他

大学・短期大学部・団体

氏名・学科・学年	区分	推薦事由
浅野 嘉允 (子ども教育4年)	4	信望が厚く、多くの代表の役割を担い、不登校生徒支援ボランティアに参加、指導者としての力量向上にも努めた。
森崎 菜月 (理学療法4年)	4	学業成績優秀で人格識見に優れ、様々な役割を積極的に引き受け、真面目で向上心が強い人柄である。
幅上 真穂 (看護4年)	4	学業成績優秀で常に冷静で自己を客観視でき、目標を確実に達成できる努力家である。
安江 秀峰 (スポーツ健康科4年)	4	学業成績優秀で様々な役割を積極的に引き受け、課外活動にも熱心に取り組む真面目な人柄である。
青井 麻瑚 (スポーツ健康科4年)	3	第41回東海テレビ杯争奪中部学生ゴルフ選手権において、女子の部で優勝した。
富田 幸暉 (スポーツ健康科3年)	3	第43回岐阜県アマチュアゴルフ選手権において、男子の部で優勝した。
笠原 瑛 (スポーツ健康科2年)	3	第58回中日杯争奪中部学生ゴルフ選手権において、男子の部で優勝した。
長谷川 貴優 (スポーツ健康科2年)	3	第47回CBCテレビ杯争奪中部学生ゴルフマッチプレー選手権において、男子の部で優勝した。
伊佐治 瑚乃 (スポーツ健康科2年)	3	中日杯争奪中部学生ゴルフ選手権及びCBCテレビ杯争奪中部学生ゴルフマッチプレー選手権において、女子の部で優勝した。
大森 彩那 (幼児教育1年)	3	幼児教育学科に所属しながら、陸上競技部で女子ハンマー投げ選手として活躍、数多くの全国大会に出場した。
浅井 蒼太 (人間福祉3年)	1	GS部長として、コロナ禍における大学祭であったが、定期的に定例会を開き、業者とのやりとりも率先して行った。
小山 杏奈 (子ども教育3年)	1	GS副部長として、部長が活動できない期間は、代わりに部員に連絡を取り、真面目かつ積極的に活動した。
男子ゴルフ部	3	中部学生ゴルフ春季大学対抗戦及び中部学生ゴルフ秋季大学対抗戦において、男子団体チームが優勝した。

大学の学長に江馬諭副学長 短期大学部は片桐史恵副学長

学校法人岐阜清美学院は12月、定例の理事会を開き、2022年度の中部学院大学ならびに同短期大学部の各学長を選任しました。任期満了に伴い、大学の古田善伯学長、短期大学部の片桐多恵子学長がそれぞれ退任し、大学の学長に江馬諭副学長(大学)、短期大学部の学長に片桐史恵副学長(大学兼短期大学部)を選任しました。任期はともに2022年4月1日から3年間。江馬副学長は下呂市出身。岐阜大学工学部卒。同大学院工学研究科修士課程修了、名古屋大学博士(工学)。岐阜大学教育学部長、同理事・副学長などを経て、20年度より現職。21年度より教育学部長を兼務。文部科学省大学設置・学校法人審議会専門委員などを歴任。片桐史恵副学長はオーストラリアのグリフィス大学卒。東洋英和女学院大学大学院人間科学研究科修士課程修了。本学学長補佐などを経て、17年より現職。岐阜生と死を考える会副会長、県医療審議会委員などを務めています。



CLUB & CIRCLE



硬式野球部

明治神宮野球大会に3年ぶりに出場
準決勝まで一歩及ばず

硬式野球部は、秋季岐阜リーグ、秋季東海選手権、東海地区・北陸・愛知3連盟代表王座決定戦を勝ち上がり、明治神宮野球大会(11月)に3年ぶり4度目の出場を果たしました。

春季リーグは新型コロナウイルス感染症の影響で、

岐阜リーグを制したものの、全日本大学選手権への出場を掛けた東海選手権出場を辞退。秋季リーグ直前にもコロナの影響を受けました。しかし、チームは一丸となり、全国大会の頂点を目指してきました。

神宮大会の初戦は神奈川大学。序盤に4点を奪い、投げてはエースの秋田稜吾投手(スポーツ④/神奈川・東海大相模高校出身)が要所を締め、試合を優位に進めていましたが、終盤に投手陣が崩れて大量得点を許し、5-12で敗れ、準決勝に手が届きませんでした。



軟式野球部

東日本学生選抜大会準優勝
創部16年目での快挙

軟式野球の東日本学生選抜大会が11月、東京都のスリーポンドスタジアム八王子などで行われ、軟式野球部は持ち前の投手力が光り、創部16年目で初となる準優勝を飾りました。



岐阜リーグを制して勝ち上がった今大会の初戦は愛知東邦大学。猛打がさく裂し、投げては間宮大喜投手(スポーツ②/各務原高校出身)が参考記録ながら、無安打完封のノーヒットノーランを達成するなど、11-0の5回コールドで圧勝。準決勝では、同大会3度の優勝を誇る中央大学を相手に3人の継投で、2-1で逃げ切りました。初の決勝は愛知大学豊橋学舎と対戦。5回に先制点を奪い、7回まで2被安打と優勢に試合を進めましたが、1-2で逆転勝ちを許し、惜敗しました。



ゴルフ部

主要全国大会に男女とも出場
朝日杯 女子3位入賞



ゴルフの朝日杯争奪日本学生選手権ならびに同女子学生選手権(個人戦)、信夫杯争奪日本大学対抗戦ならびに同女子大学対抗戦(団体戦)、文部科学大臣杯争奪日本学生王座決定戦など、全国の主要大会に出場したゴルフ部。信夫杯では女子が3位入賞を果たしました。

全国大会出場選手

【男子】水田竜昇(4年/埼玉栄)棚町駿(4年/香川・藤井学園寒川)服部雅也(3年/愛知・岡崎城西)笠原瑛(2年/広島・瀬戸内)長谷川貴優(2年/各務原)河邊匠(1年/瀬戸内)
【女子】青井麻瑚(4年/愛知・栄徳)圓角育未(4年/石川・金沢学院)小島彩夏(3年/愛知・中部大第一)荒川怜郁(2年/沖縄・コザ)伊佐治瑚乃(2年/愛知啓成)生駒莉彩(2年/中部大第一) ※いずれもスポーツ健康科学部

空手道部

全日本大学選手権に全種目出場
形は前回に引き続きベスト8

全日本大学空手道選手権が11月に東京都の日本武道館で行われ、空手道部は3大会連続出場を果たしました。大会は男女の団体「形」と「組手」の計4種目があり、本学は、組手は初戦敗退したものの、形は前回に引き続き、男女ともにベスト8まで勝ち残りました。



出場選手

【形】男子 渡邊尚樹(人間福祉③/山梨・日本航空)高杉龍之介(スポーツ②/愛知・東邦)杉山優希(スポーツ①/静岡・東海大翔洋) 女子 中路陽紗乃(スポーツ④/兵庫・夙川学院)三鳥きり(スポーツ③/鳥根・出雲工業)川上友維(スポーツ③/大阪学芸)
【組手】男子 盛一拳斗(スポーツ④/石川・小松大谷)面晶大(スポーツ③/同)吉田優太(人間福祉③/愛知産業大学工業)山田大道(スポーツ③/日本航空)小澤優希(スポーツ①/埼玉・花咲徳栄)小松凌也(スポーツ①/長野・松商学園)永澤仁(スポーツ①/岩手・大船渡) 女子 尾上舞優(教育④/夙川学院)生魚瑠那(スポーツ②/花咲徳栄)山口めぐみ(教育②/静岡・浜松開誠館)

剣道部

昨年6月に1部昇格を果たした剣道部は、東海学生剣道選手権大会で、主将を務める堀江陸選手(スポーツ④/大阪・履正社高校出身)が創部初の個人優勝を果たして全国大会に出場。団体では悲願の「全日本学生優勝大会(10月・大阪市)」への初出場を決め、初勝利を挙げました。



出場選手

堀江陸(スポーツ④/大阪・履正社)林悠人(スポーツ④/高山西)角本皓哉(スポーツ③/美濃加茂)上杉亮太(スポーツ③/郡上)山畑蒼一郎(スポーツ②/同)牧幸汰(看護②/高山西)土屋壮平(スポーツ①/同)黒川暉瑛(教育①/中京)柴田竜雅(スポーツ①/済美)

全日本学生優勝大会で全国初勝利
個人では堀江選手が東海大会優勝

女子ソフトテニス部

創部4年目 東海1部に昇格
全国大会での活躍に期待

4部からスタートした女子ソフトテニス部が、創部4年目にして悲願の1部に昇格を果たしました。新型コロナウイルス感染症の影響でこれまで3季にわたり、大会が中止となり、2部で足止めしていました。再開した秋季リーグでは集中力を発揮。2部を制し、入れ替え戦でも存分に力を出し切り、昇格を決めました。

出場選手

河合美咲(教育④/鶯谷)戸田佳南未(スポーツ④/三重)川瀬友香(人間福祉②/鶯谷)鍋島梓沙(人間福祉②/石川・鵬学園)大塚真矢(スポーツ①/県岐阜商業)笠井美幸(スポーツ①/岐阜城北)

陸上競技部

則武選手が日本学生競歩20km選手権に出場

3月に石川県で行われる「日本学生20km競歩選手権」に則武桃佳選手(スポーツ②/愛知・至学館高校出身)が出場を決めました。



TOPICS

各務原市まちづくりミーティングに学生が参加 市長と住みやすいまちづくりについて意見交換

各務原市まちづくりミーティングが12月、オンラインで行われ、教育学部6名の学生が浅野健司市長と意見交換を行いました。

この取り組みは、市民のアイデアや活力をまちづくりに生かし、「未来を見据えた各務原市づくり」を共に考えるために進められています。

学生は、住みやすいまちづくりについて、「生活する」「宣伝する」「学ぶ」の3つのキーワードを設定し、「教育」や「保育の学び」などを生かした提案にまとめました。同学部の梅田裕介講師は、「各務原市外の学生もいましたが、それぞれ自分の住む地域についての疑問や考えを持ちつつ、愛着を持って地域をより一層盛り上げていける存在へと成長してほしい」と期待を寄せました。



若者を呼び込む商品などを提案 JAぎふと産学連携授業

短期大学部社会福祉学科美・デザインコースならびに医療事務コース「SNS活用論」では、JAぎふと産学連携授業を進め、産直施設「山県ばすけっと」に若者を呼び込むための「インスタ映え」を意識した商品などを提案しました。

授業では現地を2回訪問し、取材や試食などを行いました。

その後、「インスタ」「マップ」「ポップ」「商品提案」の4グループに分かれ、集客のヒントを探ってきました。成果発表会では、山県産のイチゴが食べ歩きできるように工夫した「いちご大福あめ」を提案したり、写真にスマートフォンをかざすと音声案内が聞ける店内マップを紹介したり、施設内でドキドキワクワクを感じながら、楽しく過ごせるようなアイデアを披露しました。

高齢者の体力向上を目指した共同研究 JAめぐみのとタイアップ

看護リハビリテーション学部理学療法学科(西嶋・三川・菅沼ゼミ)は、福祉分野で高齢者の健康づくりを支援する活動の一環として、包括連携協定を結んでいるJAめぐみのと共同研究事業を進めています。

今年度は、デイサービス利用者の健康増進を目的に、リモートを利用した遠隔体操指導などを行いました。これまで開発を進めてきた、タオルを使った「あしゆび体操」は、足指でタオルをたくり寄せるトレーニング法。足指の筋力をつけ、立つ時や歩く時のバランス能力の向上を図ります。現在は、「あしゆび圧迫体操」も開発しています。靴の中敷きであるインソールの指先にクッションを付けた用具を使い、足指で踏む力を鍛えます。高齢者の転倒を防ぐなど、体力の向上を目指し、取り組んでいます。



STUDENT MEETINGを開催 大学教育や学生生活について考える

大学教育・学生生活STUDENT MEETINGを12月に開催しました。各学科から代表の学生ら計14名が出席。「通学方法」「施設・設備」「各学科の特色」など、普段感じていることや大学に対する要望などの意見を述べました。聞き取った意見は関係部門で共有され、今後の改善に役立てられます。



ふれあいいきいきサロン 学生が高齢者と触れ合う

人間福祉学部3年生が12月、関市富野ふれあいセンターで「ふれあいいきいきサロン」を開催しました。学生による地域貢献事業の一環。高齢者の不安を少しでも軽減し、楽しみや意欲に繋がるよう、学生は体操やゲーム、しめ縄づくりなど、工夫を凝らしながら、交流を深めました。



ほらどキウイを未来につなごうプロジェクト キウイの新しい苗木を植樹

JAめぐみのは、「ほらどキウイを未来につなごうプロジェクト(ほらプロ)」を立ち上げ、本学もパートナーとして活動を応援しています。キウイ栽培が盛んな関市洞戸地区では、年間約30万玉のキウイが生産されていますが、樹木の高齢化や後継者不足が課題となっています。同プロジェクトでは、新しい苗木の植樹作業が行われ、本学からはスポーツ健康科学科1年の仁木登真さんと西村和葵さんがボランティアとして参加しました。



L.E.A.P. Plaza企画 両キャンパスで開催 関では留学生との交流の場に

両キャンパスにある国際交流拠点「L.E.A.P. Plaza(リープ・プラザ)」では、さまざまな企画を通して、海外での文化を学んだり、留学生らと交流を深めたり、国際交流の輪を広げています。



[関]Halloween History / Happy Halloween / 学びの地 岐阜を知ろう! / 昨今のお墓事情と埋葬の歴史 / 婚姻の歴史 / クリスマスの意味 / 日本における感染症の歴史 / 世界のクリスマス
[各務原]Chatting with Mark-Sensei(全6回) / 東南アジアとアフリカでのフィールドワークのエピソード / ドイツのクリスマス

2022年度 年間行事予定 2022年3月1日現在

入学式

4/2(土) 長良川国際会議場
前期授業開始日 ※
4/7(木)
開学記念日
5/14(土)

後援会総会・保護者懇談会

6/4(土) 関・各務原
前期定期試験日 ※
7/25(月)~7/29(金)
後期授業開始日 ※
9/26(月)
大学祭・たのしみん祭・ホームカミングデー
10/15(土) 関
学びの森フェスティバル
11/3(木)文化の日 各務原

中部手話スピーチコンテスト

11/19(土) 各務原
クリスマスツリー点灯式
11/28(月) 関
クリスマス礼拝・祝会
12/19(月) 関
年内授業終了日
12/26(月)
年始通常授業開始日
1/6(金)

大学入学共通テスト

1/14(土)・15(日) 関
後期定期試験日 ※
1/23(月)~1/27(金)
卒業礼拝
3/17(金) 関
卒業式
3/18(土) 長良川国際会議場

※ … 学科により異なる



中部学院大学
同短期大学部

関キャンパス 〒501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘二丁目1番地 TEL 0575-24-2211
各務原キャンパス 〒504-0837 岐阜県各務原市那加翔田町30-1 TEL 058-375-3600

[大学院] 人間福祉学研究科 修士課程 博士課程(後期)
[大学] 人間福祉学部 人間福祉学科(社会福祉コース/精神保健福祉コース/介護支援コース/地域貢献コース)通信教育部
教育学部 子ども教育学科(小学校・中学校教諭コース/幼稚園教諭・保育士コース)
看護リハビリテーション学部 理学療法学科 看護学科
スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科(スポーツ健康領域/スポーツマネジメント領域/障がい者スポーツ領域/保健体育科教育領域)
[短期大学部] 幼児教育学科(あそびすとコース/障がい児支援コース/子育て支援コース)
社会福祉学科(介護福祉コース/美・デザインコース/医療事務コース)